

# 2012年度 支部共通事業 | 日本建築学会設計競技応募要項

## 課題「あたりまえのまち／かけがえのないもの」

### 主催

日本建築学会

### 後援予定

日本建築家協会、日本建築士会連合会、日本建築士事務所協会連合会、建築業協会

### 主旨

私たちの先人は、長い時間をかけ居住地にさりげない企みを込めました。結界を施し、道行きをこしらえ、境界を巧妙に操作し、眺望の場を確保し、木を植え、水を引き、場所の潜在力を引き出す建築的仕掛けを構想してきました。地球表面の微妙な差異、地形の起伏、水や緑の縁の加工を通して、循環と再生の仕組みをつくりあげ、海や空の彼方への想像力を膨らませながら。

2011年3月11日。私たちは喪失の風景に直面しました。ゆっくり進むはずの時間が、一気に加速度を増し、すべてを押し流してしまいました。失ってはじめて気づくあたりまえのまち。たいせつな、かけがえのない、愛しいものたち。日々の生活を包み込んでくれた風景。

失われたのは単に風景というより、それを支える思想とでもいうものでした。しかも実は既に失われていて、それが顕在化しただけだったのかも知れません。

あらためて、私たちは場所の意味について、空間の価値について、自然との関係について、立ち止まって考えてみるべきでしょう。

建築とは、ささやかに大地を掘り、築き、固め、なお自然の恵みを受け止めつつ脅威に向き合う行為です。とりわけ日本の微地形と多様に襲をなす自然、そして季節の移ろいを愛でる文化のなかにあってはなおのこと。

もちろん人間は脳裏に壮大な世界を宿し、巨大な時間と空間を描き出し、計画理性を用いることができます。しかし同時に、単なる理性的存在でなく、美や驚きや愛を感じる存在でもあるのです。

近視眼的な経済合理性でなく、むしろ理屈で割り切れぬかけがえのない価値に気づき、守り、そして創造する。連続と生活文化を育んできたあたりまえのまちを、かけがえのないものを再発見し、その意味と価値を未来へと架け渡していくための建築的介入をおこなう、というのが今回の課題です。

一本の木が、切り倒されてはじめていかに多くの人々や動物たちに心地よい緑陰を与えていたかに気づくように、切り捨てられたり見過ごされてきたあたりまえの要素を見だし、かけがえのない風景に再結晶させる、そのような建築的介入をおこなってください。

審査委員長 竹山聖

### 応募規程

#### A. 課題

「あたりまえのまち／かけがえのないもの」

#### B. 条件

実在の場所（計画対象）を設定してください。

#### C. 要求図面

1. 現状や計画条件を図や写真等を用いてわかるようにしてください。
2. 設計主旨、配置図、平面図、断面図、立面図、透視図、模型写真等を自

由に組み合わせ、わかりやすく表現してください（縮尺明記のこと）。

なお、設計主旨の概要を600字以内の文章でまとめ、10ポイント以上の文字で図面中に記入してください。また別途、A4判用紙1枚（縦使い）で提出してください。ただし、模型、ビデオ等は受け付けません。

3. 用紙はA1サイズ2枚（594×841mm、サイズ厳守、変形不可、2枚つなぎ合わせることは不可）とし、裏面に図面番号を付けてください。仕上げは自由としますが、図面に写真等貼り付ける場合は剥落しないように注意してください。なお、パネル、ボード類は使用しないでください。

#### D. その他注意事項

1. 図面および設計主旨の概要文用紙には、応募者の氏名・所属などがわかるようなものを記入してはいけません。
2. 応募作品は、ほかの設計競技等と二重応募になる作品、あるいはすでに発表された作品は応募できません。
3. 応募作品は、本人の作品でオリジナルな作品であることを要求します。

#### E. 応募資格

本会個人会員とします。

#### F. 提出方法

1. 所定の応募申込書（本会ホームページから入手してください<http://www.aij.or.jp/jpn/symposium/2012/compe.pdf>）・主旨概要文用紙（A4サイズ）を入れた封筒と図面を一括して提出してください。

なお、受領通知が必要な方は、受領通知返信ハガキ（官製ハガキに代表者の住所・氏名記入のこと）を同封してください。

2. 応募作品は1案ごとに別々に提出してください。
3. 締切期日：2012年6月29日（金）必着（17:00まで）
4. 提出先：計画対象の所在地を所轄する本会各支部の事務局とします。  
たとえば、関東支部所属の応募者が、東北支部所轄地域内に場所を設定した場合は東北支部へ提出してください。ただし、海外に場所を設定した場合は、応募者が所属する支部へ提出してください。

#### 5. 各支部事務局 所在地一覧

- ・北海道支部（北海道）  
〒060-0004 札幌市中央区北4条西3丁目1  
北海道建設会館6階  
TEL. 011-219-0702
- ・東北支部（青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島）  
〒980-0011 仙台市青葉区上杉1丁目5番地15号  
日本生命仙台句当台南ビル4階  
TEL. 022-265-3404
- ・関東支部（茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨）  
〒108-8414 港区芝5丁目26番20号  
TEL. 03-3456-2050
- ・東海支部（静岡、岐阜、愛知、三重）  
〒460-0008 名古屋市中区栄4丁目3番26号  
昭和ビル5階  
TEL. 052-243-6244
- ・北陸支部（新潟、富山、石川、福井、長野）  
〒920-0863 金沢市玉川町15丁目1番地  
パークサイドビル3階  
TEL. 076-220-5566
- ・近畿支部（滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山）  
〒550-0004 大阪市西区靱本町1丁目8番4号  
大阪科学技術センター内

TEL. 06-6443-0538

・中国支部（鳥取、島根、岡山、広島、山口）  
〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報  
プラザ5階 広島県建築士会内  
TEL. 082-243-6605

・四国支部（徳島、香川、愛媛、高知）  
〒782-8502 高知県香美市土佐山田町宮ノ口185  
高知工科大学連携研究センター 201号室  
TEL. 0887-53-4858

・九州支部（福岡、佐賀、長崎、熊本、宮崎、大分、鹿児島、沖縄）  
〒812-0024 福岡県福岡市中央区天神四丁目7番11号  
第1大西ビル5階  
TEL. 092-406-2416

九州支部事務局は、2012/3/30に上記に移転致しましたので、  
図面送付の際はご注意ください。

## G. 審査方法

### 1. 支部審査

各支部に集まった応募作品を支部ごとに審査し、応募数が15点以下は応募数の1/3程度、16～20点は5点を支部入選とします。また、応募数が20点を超える分は、5点の支部入選作品に支部審査委員の判断により、応募数5点ごと（端数は切り上げ）に対し1点を加えた点数を上限として支部入選とします。

### 2. 全国審査（公開）

支部入選作品をさらに本部に集め全国審査を行い、H項の全国入選作品を選出します。

#### 1——全国1次審査会

全国2次審査進出作品のノミネートとタジマ奨励賞を決定します。

日時——8月2日（木）13:00～17:00 予定

場所——建築会館ホール（東京都港区芝5-26-20）

#### 2——全国2次審査会

ノミネーターによるプレゼンテーションを実施し、その後に最終審査を行い、各賞と佳作を決定します。なお、代理によるプレゼンテーションは認めません。

日時——9月12日（水）10:00～15:00

場所——名古屋大学（大会会場：名古屋市中種区不老町）

プログラム——

10:00～開場

10:15～12:00 ノミネーターによるプレゼンテーション

（発表時間8分間／PCプロジェクターは主催者側で用意します。コンピューター等は各自で用意してください。）

13:00～15:00 公開審査

16:15～17:00 表彰式

（プログラムは、大会スケジュールにより時間が多少前後する場合があります。）

### 3. 審査員（敬称略順不同）

〈全国審査員〉

審査委員長：竹山 聖（京都大学准教授）

審査員：生田 京子（名城大学准教授）

石原 智也（NTTフェシリティーズ建築事業本部プロジェクト設計部長）

木多 道宏（大阪大学准教授）

小林 英俊（富山県建築士会事務局長）

島田 雅彦（小説家）

末廣 香織（九州大学准教授）

竹内 泰（宮城大学准教授）

松岡 恭子（スピングラス・アーキテクト代表取締役）

〈支部審査員〉

### ●北海道支部

川人 洋志（北海道工業大学教授）

赤坂真一郎（アカサカシンイチロウアトリエ代表取締役）

小西 彦仁（ヒココニシ設計事務所代表取締役）

那須 聖（札幌市立大学准教授）

山之内裕一（山之内建築研究所代表）

### ●東北支部

五十嵐太郎（東北大学教授）

新井 信幸（東北工業大学講師）

佐藤 慎也（山形大学教授）

大沼 正寛（東北工業大学准教授）

恒松 良純（秋田工業高等専門学校准教授）

### ●関東支部

饗庭 伸（首都大学東京准教授）

綾井 新（香山壽夫建築研究所）

小川 次郎（日本工業大学教授）

鳴海 雅人（佐藤総合計画設計室執行役員設計室長）

能勢 修治（石本建築事務所プロジェクト推進室部長）

### ●東海支部

中井 孝幸（愛知工業大学准教授）

恒川 和久（名古屋大学講師）

納村 信之（名古屋商科大学准教授）

武藤 隆（大同大学准教授）

市川 健二（竹中工務店名古屋支店設計部設計副部長）

### ●北陸支部

川崎 寧史（金沢工業大学教授）

西村 伸也（新潟大学教授・副学長）

貴志 雅樹（富山大学教授）

道地 慶子（石川工業高等専門学校准教授）

高嶋 猛（福井工業大学講師）

早見 洋平（信州大学准教授）

### ●近畿支部

阿部 浩和（大阪大学教授）

大西 一嘉（神戸大学准教授）

新谷 昭夫（大阪府立住まいのミュージアム副館長）

徳岡 建夫（奥村組建築設計部長）

鳥居 久人（昭和設計執行役員）

### ●中国支部

小川 晋一（近畿大学教授）

岡川 貢（広島大学大学院准教授）

小西 郁吉（小西建築設計事務所）

垂井 俊郎（CAF垂井俊郎建築設計事務所）

松本 静夫（福山大学教授）

村上 徹（広島工業大学教授）

### ●四国支部

佐藤 昌平（佐藤昌平建築研究所主宰）

喜多 順三（空間計画研究所代表）

平山 昌信（舩建築工房代表）

三好 鉄己（アトリエ3代表）

### ●九州支部

田中 智之（熊本大学准教授）

岡田 知子（西日本工業大学教授）

志賀 勉（九州大学講師）

塩塚 隆生 (塩塚隆生アトリエ代表取締役)  
森 浩 (日本設計九州支社副社長)

#### H. 賞および発表

##### 1. 賞

1—支部入選者：支部長より賞状および賞牌を贈ります (ただし、全国入選者は賞牌を除く)。

2—全国入選者：次のとおりとします。

●最優秀賞 3点以内

賞状・賞牌・賞金 (計100万円)

●優秀賞 数点

賞状・賞牌・賞金 (各10万円)

●佳作 数点

賞状・賞牌・賞金 (各5万円)

(授与は合計で12点以内とします。)

3—タジマ奨励賞 10点以内 賞状・賞金 (各10万円)

(タジマ奨励賞は、タジマ建築教育振興基金により、支部入選作品の中から、準会員の個人またはグループを対象に授与します。)

注：賞金は、すべて税込みです。

##### 2. 入選の発表

1—入選の発表

支部審査の結果：各支部より応募者に通知。

全国審査の結果：支部入選者には、全国1次審査結果を9月上旬に通知。

全国入選作品、審査講評：建築雑誌2012年11月号誌上発表。

全国入選作品展示：建築会館展示コーナー、大会会場にて開催。

2—支部入選者表彰式：各支部で実施。

全国入選者表彰式：9月12日 (水)

大会会場 (名古屋大学)

#### I. 著作権

入選作品の著作権は、入選者に帰属します。

ただし、建築学会がこの事業の主旨に則して入選作品を会誌またはホームページに掲載、図書の出版、展示などの公表のために用いる場合、入選者は無償でその使用を認めることとします。

#### J. その他

1. 応募作品は、返却します。ただし、入選作品は、H項により使用が終わるまで建築学会が保管します。必要な方は作品の控えをとっておいてください。

2. 質疑は受け付けません。

3. 応募規程に違反した場合は受賞を取り消すことがあります。

#### K. 申込問い合わせ (本部・支部事務局)

日本建築学会 各支部事務局 設計競技担当 (F5参照)

日本建築学会 本部事務局 設計競技担当

〒108-8414 東京都港区芝5-26-20

TEL 03-3456-2056

好評発売中

2011年度 日本建築学会設計競技優秀作品集

# 時を編む建築



A4判 / 130頁 / 定価 2,625円 (税込)  
ISBN 978-4-7655-2557-2

日本建築学会 編

2011年度「日本建築学会設計競技」の優秀作品集が発売されました。

今回も、391作品の中から審査を経て入選した優秀作品を、  
講評とともに掲載しました。

建築家を目指す若い設計者、学生の皆さんは、  
ぜひ参考にしてください。

◆お近くの書店または直接出版社にお申し込みください。

技報堂出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-2-5  
TEL 03(5217)0885 FAX 03(5217)0886

<http://gihodobooks.jp/>

2012年度 日本建築学会設計競技  
「あたりまえのまち / かけがえのないもの」応募申込書

応募支部	支 部	タジマ奨励賞対象者*2	整理番号	支部 No.	本部 No.
応募者氏名・フリガナ 連絡先（自宅）		会員種別*1 会員番号	所属（勤務先、部課／学校、学年） 連絡先（所属）		
代 表 者	フリガナ	種別	会員	所属（勤務先、部課／学校、学年）	
	氏 名	番号			
	自 宅 TEL e-mail			所 属 TEL FAX	
共 同 制 作 者	フリガナ	種別	会員	所属（勤務先、部課／学校、学年）	
	氏 名	番号			
	自 宅 TEL e-mail			所 属 TEL FAX	
共 同 制 作 者	フリガナ	種別	会員	所属（勤務先、部課／学校、学年）	
	氏 名	番号			
	自 宅 TEL e-mail			所 属 TEL FAX	
共 同 制 作 者	フリガナ	種別	会員	所属（勤務先、部課／学校、学年）	
	氏 名	番号			
	自 宅 TEL e-mail			所 属 TEL FAX	
共 同 制 作 者	フリガナ	種別	会員	所属（勤務先、部課／学校、学年）	
	氏 名	番号			
	自 宅 TEL e-mail			所 属 TEL FAX	

注) 太線の枠内をご記入ください。

\*1: 応募資格は本会個人会員ですので、必ず会員種別と会員番号を記入してください。

入会手続きは本会ホームページで行えます。 <http://www.aij.or.jp>

\*2: タジマ奨励賞は、准会員の個人または准会員のみのグループが対象となります。対象者は、○をしてください。